

未来を創る、こどもたち。
未来を育てる、わたしたち。
～未来への責任～

MEXCBTを活用した 埼玉県学力・学習状況調査の取組



埼玉県学力・学習状況調査



コバトン

県学調キャッチフレーズ
タップで実感 アップでスマイル

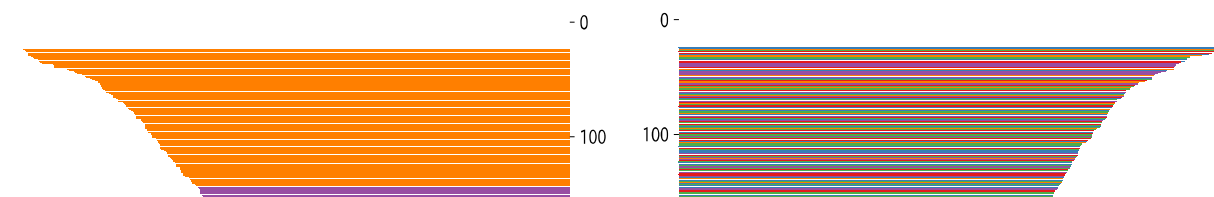
1 令和5年度 埼玉県学力・学習状況調査の概要

● 令和5年度埼玉県学力・学習状況調査について

実施期間	令和5年5月8日（月）～5月17日（水） PBT 26市町 令和5年5月8日（月）～5月24日（水） CBT 36市町村
調査学校数・児童生徒数	県内の公立小・中学校等（さいたま市を除く）に在籍する小学校第4学年から中学校第3学年の全児童生徒 小学校 690校 138,647人 中学校 352校 131,985人 義務教育学校 2校 342人 県立中学校 1校 231人
調査事項	<ol style="list-style-type: none"> 児童生徒に対する調査 <ol style="list-style-type: none"> 教科に関する調査（出題数は各学年31～36題、出題形式は選択式・短答式） 小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数 中学校第1学年 国語、数学 中学校第2学年及び第3学年 国語、数学、英語 質問調査 学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項（質問数は学年により98～106項目） 学校及び市町村教育委員会に対する調査 学校における教育活動並びに学校及び市町村における教育条件の整備等に関する事項
特長	<ol style="list-style-type: none"> 学力の伸び（経年変化）などを継続して把握することのできる調査 <ul style="list-style-type: none"> 小学校第4学年から中学校第3学年までの同一児童生徒を継続して調査し、学力の伸びを把握 PISA（国際学力到達度調査）と同様の調査手法（項目反応理論）を採用 非認知能力・学習方略を測定することのできる調査

2 埼玉県学力・学習状況調査の特長①（学力の伸びが分かる）

「学力の伸び」が分かる 埼玉県学力・学習状況調査



学力が低くても、
学力を伸ばしている学校がある！

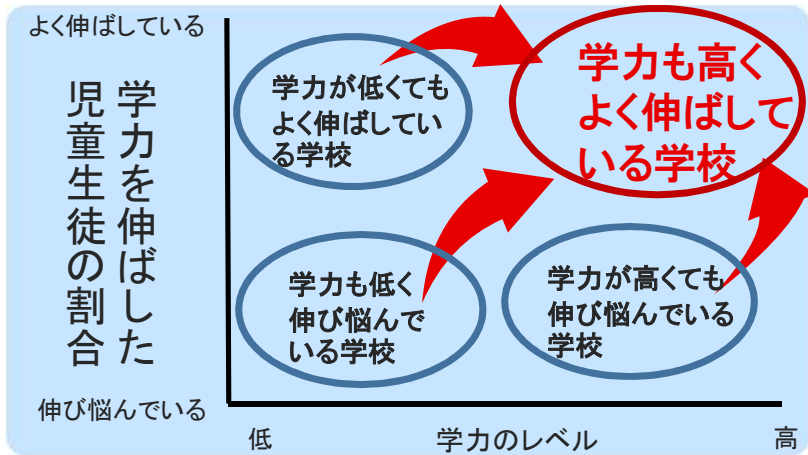
学力の平均値

学力の伸び

0.217 0.017 -0.183 -0.383 -0.583 -0.783 -0.983 -1.183 -1.383 0.04 0.24 0.44 0.64 0.84 1.04 1.24

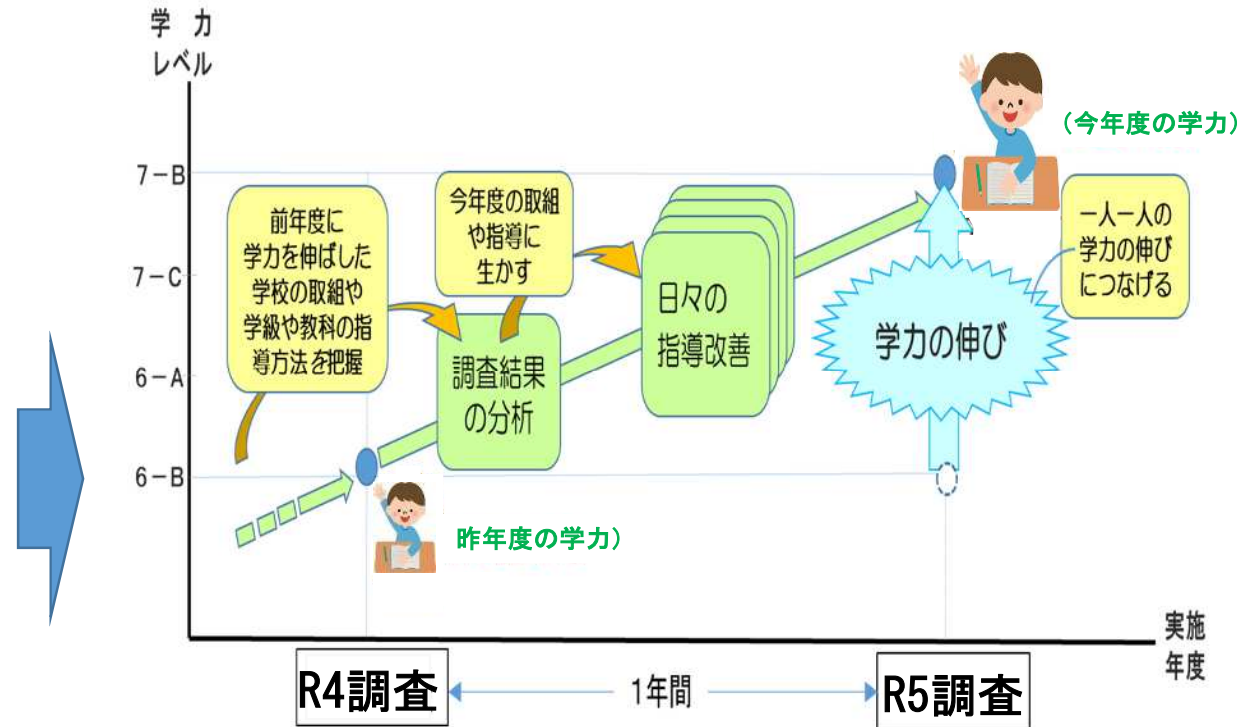
2 埼玉県学力・学習状況調査の特長②（学力を伸ばした取組・指導方法を共有）

・学力をよく伸ばしている学校が分かる



・学力をよく伸ばしている学級や教科が分かる

前年度のクラス	「学力を伸ばした児童」の割合	
	国語	算数
5-1	73.4%	96.5%
5-2	91.8%	75.1%



○ データに基づく学校・教員の授業改善PDCAサイクルの確立

2 埼玉県学力・学習状況調査の特長③（非認知能力や学習方略）

非認知能力

○認知能力…いわゆる学力であり、たし算、漢字の読み書き、文章題、図形の把握などができる力

○非認知能力…認知能力ではない能力全般

自制心	イライラしない、心の平静を保てる など
自己効力感	自分への自信、自己肯定力 など
勤勉性	やるべきことをきちんとやる など
やりぬく力	粘り強い、根気がある など
向社会性	他者を助けようとする など

※埼玉県学力・学習状況調査で測っている非認知能力

学習方略

○学習方略…学習の効果を高めるために子供が意図的に行う活動

柔軟的方略

学習の仕方を自分の状況に合わせて柔軟に変更していく活動

＜例＞ 勉強の順番を変える、分からないところを重点的に学習する など

プランニング方略

計画的に学習に取り組む活動

＜例＞ 勉強を始める前に計画を立てる など

作業方略

ノートに書く、声に出すといった、「作業」を中心に学習を進める活動

＜例＞ 大切なところを繰り返し書く など

認知的方略

より自分の理解度を深めるような学習活動

＜例＞ 勉強した内容を自分の言葉で理解する など

努力調整方略

「苦手」などの感情をコントロールして学習への動機を高める活動

＜例＞ わからないところもあきらめずに継続して学習する など

※埼玉県学力・学習状況調査で測っている学習方略

3 埼玉県学力・学習状況調査のCBT化

●様々な課題に対応しながら、段階的に埼玉県学力・学習状況調査(県学調)のCBT化に向けた取組を推進

R3年度	①試行調査	<p>【目的】 3種のOS (Windows・Chrome・iPad) で、直接型・集約型のどちらの接続方法でも調査実施が可能なことの確認、児童生徒のICT活用能力の確認</p> <p>【対象】 4市町(各小・中学校1校)、県立中学校1校</p>
	②予備調査	<p>【目的】 「学力の伸び」をCBT化後も継続して測定する仕組みの構築</p> <p>【対象】 4市町(各小・中学校1校)</p>
R4年度	③接続確認調査	<p>【目的】 県立中学校及び県内(さいたま市除く)の全小・中学校を対象とした、学校の通信環境(一斉接続)の確認</p> <p>【対象】 62市町村全校(約1,000校)及び県立中学校(1校)</p>
	④プレ調査	<p>【目的】 全面実施を見据えた実施手法や結果返却方法の実証</p> <p>【対象】 1市全校(小学校7校・中学校3校)</p>
R5年度	⑤県学調(本調査)	<p>・県内の市町村(さいたま市除く)がCBTかPBTを選択し実施 ※CBT(36市町村、約12万人)、PBT(26市町村、約17万人)</p> <p>【目的】 全面実施を見据え、児童生徒は個人番号の入力やCBTの操作等を確認する。学校は問題の配信や解答データの提出状況の把握方法等を確認する。</p> <p>【対象】 62市町村全校(約1,000校)及び参加する県立学校</p>
	⑥CBT体験	
R6年度	⑦県学調(本調査)	<p>・県立学校及び県内市町村(さいたま市除く)においてCBTで実施を計画している。</p>

③～
MEXCBTを使用した調査

3 埼玉県学力・学習状況調査のCBT化（メリット・活用事例）

○令和6年度はCBTで実施を計画

【主なメリット】

◎正誤の状況に加えて解答時間等が明らかになる。 ◎より実際の学習場面に即した出題が可能となる。

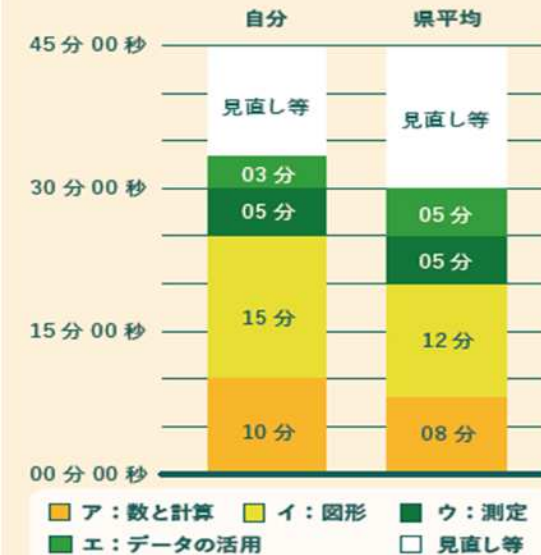
時間をかけた問題・領域別のかけた時間を返却

県平均と比べて時間をかけた問題

領域等	数と計算			
問題概要	小数と整数のたし算をする			
見直し回数	7	正誤	正	県正答率
かけた時間	5分12秒	かけた時間	県平均	2分45秒

領域等	データの活用			
問題概要	棒グラフから時間を求める			
見直し回数	2	正誤	誤	県正答率
かけた時間	2分48秒	かけた時間	県平均	1分58秒

領域等別のかけた時間

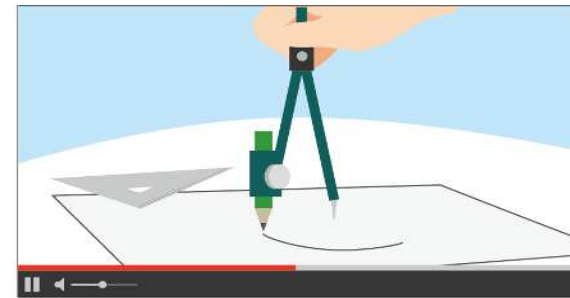


動画で出題した事例(4年生算数)

問 点ア・イ・ウを結んでできる三角形はどのような三角形ですか。

算数

問1 下の動画を見て、問題に答えましょう。



4 埼玉県学力・学習状況調査のログデータの活用（児童生徒へ返却）

●【児童生徒用帳票】 県平均に比べ時間をかけた問題と領域別のかけた時間の一覧

○県平均と比べて時間をかけた問題

（児童生徒が困った・迷ったと考えられる問題を把握）

県平均と比べて時間をかけた問題

領域等	数と計算				
問題概要	小数と整数のたし算をする				
見直し回数	7	正誤	正	県正答率	45.2%
かけた時間	5分12秒		かけた時間 県平均	2分45秒	

領域等	データの活用				
問題概要	棒グラフから時間を求める				
見直し回数	2	正誤	誤	県正答率	35.4%
かけた時間	2分48秒		かけた時間 県平均	1分58秒	

小数と整数のたし算のやり方を忘れてしまっていたけど、なんとか思い出せました。グラフ苦手だから、復習しておきます。



声かけ

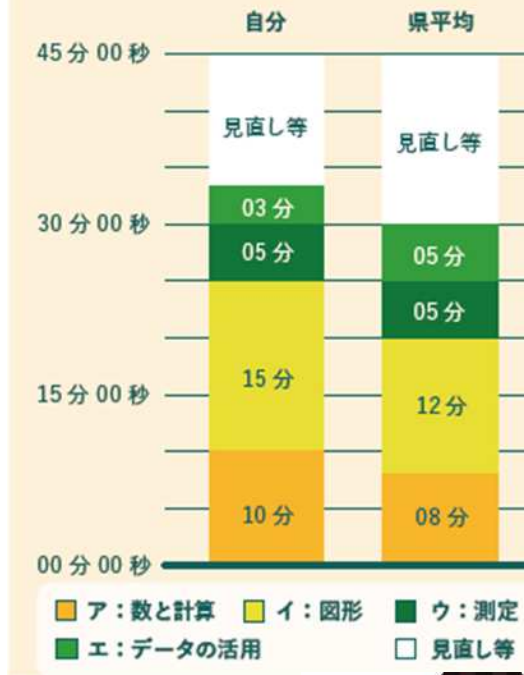
小数と整数のたし算に丁寧に取り組んでいたね。
データの活用の領域が苦手なのかな？



○領域別のかけた時間

（児童生徒が時間をかけた領域を把握）

領域等別のかけた時間



面積の計算（図形）に時間をかけすぎてしまったと思います。計算苦手だから、いろいろ復習しておきます。



声かけ

データの活用の領域が得意なのかな
かけた時間が長くなっているから、計算に時間がかかっているのでは？



4 埼玉県学力・学習状況調査のログデータの活用（クラスの実態把握）

●【学校用帳票の活用】 1問1問の正誤の状況と解答時間、見直し時間の一覧

- ・問題を解くことをすぐに諦めてしまう動き（クラス全体の傾向）
- ・時間をかけて正答にたどり着く動き（クラス全体の傾向）

⇒クラス全体の課題を捉えることができる

クラスの見直し生徒の解答状況

	1			2			3			4			5			
	正答率	解答時間	見直し時間	正答率	解答時間	見直し時間	正答率	解答時間	見直し時間	正答率	解答時間	見直し時間	正答率	解答時間	見直し時間	
埼玉県平均	77.9	44.9	14.5	61.6	16.9	4.3	94.7	11.6	2.7	53.3	38.5	6.8	82.0	30.2	4.2	84.5
貴校平均	81.3	65.1	20.2	54.2	15.9	3.2	98.1	11.9	2.7	62.6	41.5	7.1	81.3	27.5	3.8	86.9

24				教科全体				
直し時間	(2)			正答率	正答数	解答時間合計	見直し時間合計	問題終了画面
	正答率	解答時間	見直し時間					
3.9	57.5	75.1	88.6	62.7	19.4	1803.4	309.6	194.5
3.0	67.3	72.0	73.2	66.5	20.6	1899.2	314.0	91.6

個人番号	出席番号	性別	1			2			3			4			5			
			正誤	解答時間	見直し時間	正誤	解答時間	見直し時間	正誤	解答時間	見直し時間	正誤	解答時間	見直し時間	正誤	解答時間	見直し時間	
9876543		1	○	30	0	○	16	0	○	13	0	○	55	0	○	15	0	○
9876544		1	○	24	22	○	6	14	○	4	11	○	10	10	○	10	25	○
9876545		1	○	28	25	×	9	0	○	5	0	×	74	0	×	13	1	○
9876546		1	○	46	0	×	28	0	○	16	0	○	93	0	○	20	0	×

24				教科全体				
直し時間	正誤	(2)		正答率	正答数	解答時間合計	見直し時間合計	問題終了画面
		解答時間	見直し時間					
0	○	165	0	77.4	24	1906.3	0.0	417.1
32	○	21	5	96.8	30	1770.6	476.7	22.1
0	○	26	0	38.7	12	1484.7	135.0	634.9
0	×	175	28	41.9	13	2240.7	36.2	39.3

Aさんはできると思っていたのに意外と時間をかけているな。
Bさんはもっと見直しをすると、いいのに時間がないのかな。
詳しく、状況を見よう！



5 MEXCBTの活用（復習シート）

埼玉県学力・学習状況調査「復習シート」について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakuyou/images/fukusyusui-to.html>

県学力・学習状況調査の「復習シート」について

※調査で使用した問題や解答をもとに作成した「復習シート」は、平成24年度調査結果を基に作成しました。
このシートは、調査結果を基に「学習した内容がしっかりと身につけているか」の確認や、「一人一人の学習状況を把握する」ことに活用できます。掲載内容は変更されません。

1 「復習シート」の使い方（PDF：21KB）



2 「復習シート」の活用（印刷・解答）

学年	科目	復習シート（解答付き）	平成24年度調査用紙（解答付き）
小学	算数	1. 算数の例（PDF：21KB）	1. 算数の例（PDF：21KB）
	国語	2. 算数の例（PDF：21KB）	2. 算数の例（PDF：21KB）
中学	算数	3. 算数の例（PDF：21KB）	3. 算数の例（PDF：21KB）
	国語	4. 算数の例（PDF：21KB）	4. 算数の例（PDF：21KB）

「復習シート」の使い方について

1 「復習シート」の活用について

○ 「復習シート」は、調査結果を基に「学習した内容がしっかりと身につけているか」の確認や、「一人一人の学習状況を把握する」ことに活用できます。

○ 「復習シート」は、調査結果を基に「学習した内容がしっかりと身につけているか」の確認や、「一人一人の学習状況を把握する」ことに活用できます。

小学校5年 算数の例

復習シート 第5学年 算数

（県作成）復習シート
 ★埼玉県学力・学習状況調査問題の類題等を学年別・内容別に分類してレベル設定
【入手方法】県教委HPからダウンロード可能

MEXCBT

[1] 次の問題に答えましょう。

<解答らん>

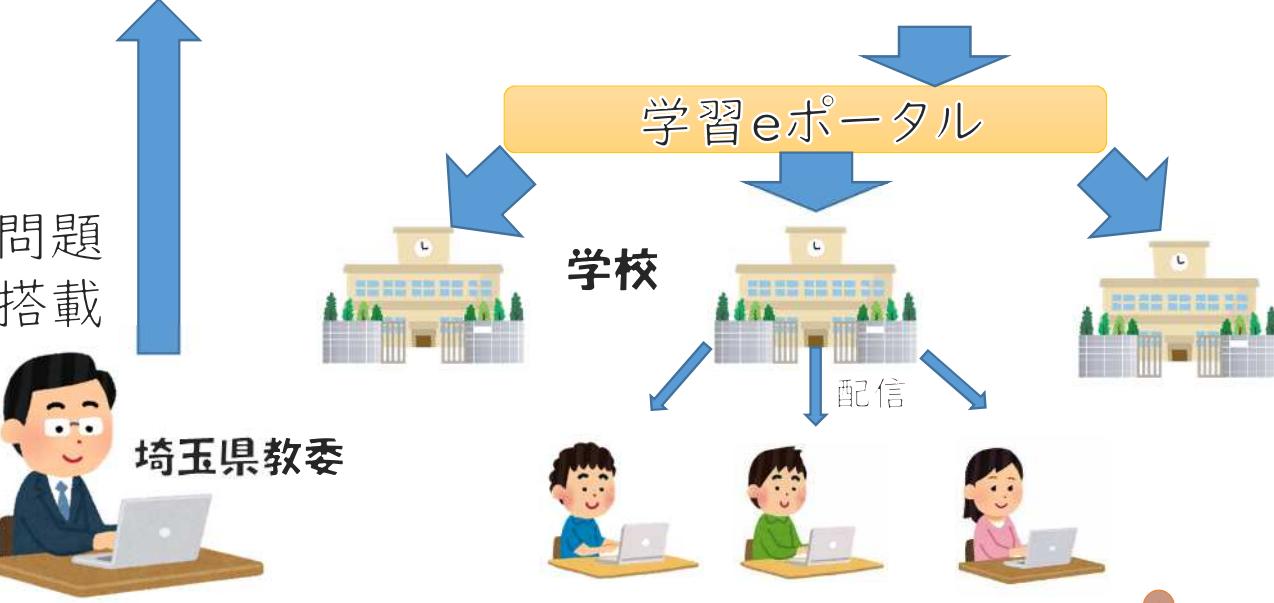
(1) $\frac{5}{2}$ を小数で表しましょう。

<解答らん>

下の口をクリックまたはタップしてから答えを入力してください。

考え方について（※未償では表示されません）

- 分数を入力するときは、 $\frac{5}{2}$ のボタンをクリックまたはタップしてから、分母、分子を半角で入力しましょう。
- ボタンが表示されていても使えないこともあります。
- 答え方の説明は、誤答問題には表示されません。体験問題でよく確認しましょう。



⇒CBTを身近に体験できる環境を構築していく 10

埼玉県学力・学習状況調査



コバトン

御清聴ありがとうございました。